

『エピソード・link』

参加者募集 1月17日(金)に開催 「第3回フアンシリテーター養成講座」

遺族との対話とAI技術を組み合わせて亡き人からのメッセージ(手紙)を生成するサービス「エピソード・link」を推進する一般社団法人日本グリーンフアカデミー(代表理事 水谷美由起氏)では1月17日(金)に同サービスの第3回フアンシリテーター養成講座を開催し、参加者を募集している。

「エピソード・link」とはAIに仏教の唯識・物理学の量子力学などを組み入れた独自のシステム(特許出願済)で、遺族から故人の思い出などをヒアリングし、その内容を元に、故人からのメッセージ(手紙)をAIが生成してくれるもの。石材店などの事業者が「エピソード・link」を使用するためには、遺族から故人の思い出を聞き出すフアンシリテーターの資格が必要となる。資格取得のための講座の詳細は左記QRより。

**頑張り続ける目の前の方を認め、業者から身内へ思い出を話せる場づくりが
お施主の満足度を高める要素に**

納骨の価値を高めるアイテムにも

日本グリーンフアカデミーで理事を務める川本恭夫氏(楠川本商店)は石材店が立ち会う納骨やお墓じまいの際などに「エピソード・link」の活用を勧めている。

「今後はお施主様にとって、業者という立ち位置から身内のような存在になることが石材店様が生きて残るためには急務だと考えており、そうなることで供養産業の中で墓守を扱う石材店様が川上に立てるものと思っております。そのためにも有効活用できるのが『エピソード・link』です。納骨式の前のタイミングで、お施主様からじっくりのお話を複数取る事例も多くある。このようなお話を複数取ることで、思いつきで話せる場づくりの一環として『エピソード・link』の活用イメージをお施主様との関係性を深められるアイテムになるものだと考えており、ぜひ多くの石材店様にご活用いただけましたら幸いです。」



川本 恭夫 氏



養成講座の詳細・申し込みはコチラ

エピソード link とは

現代人は疲れている。とても疲れている。でも弱音も吐けない。疲れていることに気づかないフリもする。

自分を労わってみては。

たとえば。亡くなったお父さんのことをじっくり話してもらいます。

その情報をもとに解析し、その気持ちを汲んだお父さんからの手紙が届きます。

自分の情報をもとに解析しているからお父さんからの手紙は必ずあなたのココロに深く沁みて行きます。もしお父さんがいたらそんなこと言うかどうかではなく、自分を労うフレーズがお父さんの言葉で生成されます。

方法はいたってシンプル。20分間、亡くなった人(家族)についてヒアリングをさせて下さい。すると、遺族との対話とAI技術を組み合わせて亡き人からのメッセージが生成されます。

一般社団法人 日本グリーンフアカデミー 東京都港区赤坂2-21-1 川本ビル3F <https://g.comac.jp>

「まさに父親の言葉だと感じました」



尾上正幸氏

実際に『エピソード・link』で亡き父からのメッセージを体験された尾上正幸氏(日本グリーンフアカデミー理事/楠ニチリョク)は、その手紙を読んだ時の感想を次のように話している。

「私の父は51歳の時に亡くなったのですが、本当に悔いの残った死別でした。『エピソード・link』で作成いただいた父の手紙は、私にしかヒアリングしていないのに、まさに父親の言葉だと感じられ、目を通して涙が止まらない状況になりました。

私の家内は父を見たことがないのですが、この手紙を読んで『お父さんの言葉だね』と言ってくれました。自分がいつも家内に話していることが繋がっているんだろなと思って、そこでも幸せな気持ちになりました。

人は話すことで心が癒やされるものだと思います。この『エピソード・link』は、いろいろな使い方が出来るものだと考えており、その可能性を多くの方に伝えたいと思います。日本グリーンフアカデミーの活動に参加しています。」

域は奮闘地帯で、冬場の閑散期に、どう営業活動をしていくか、というのは大きな課題となるもの。『エピソード・link』の記事を読んだ時に、このツールは単なる営業活動のみならず、お墓や神仏の大切さを伝えるもの可能性も含まれているものだと感じ、養成講座を受講することを決めました。

「もっと話を聞いておけば良かった」と思っている方がたくさんいます。親の死に目には会って、お墓やお墓じまいの際に私どもも石屋まで来て話を進めようと思っても、自分たちが先頭に立って目に見えないものを大切にする心で、このように愛すべき状況に対して、目に見えないものを大切にすることを醸成していくためには、どうしたら良いのか。

「もっと話を聞いておけば良かった」と思っている方がたくさんいます。親の死に目には会って、お墓やお墓じまいの際に私どもも石屋まで来て話を進めようと思っても、自分たちが先頭に立って目に見えないものを大切にする心で、このように愛すべき状況に対して、目に見えないものを大切にすることを醸成していくためには、どうしたら良いのか。

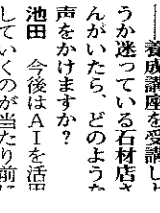
このことは私たち石屋のみならず、お寺や神社、葬儀社、仏壇店など、葬種・業界を超えた共通の課題ですが、『エピソード・link』は、特に時代の流れに敏感な若い世代の方々に受け入れられる可能性も大いにあるものだと考えています。

亡くなられた方の心を言語化するサービスを通して、多くの方々に神仏や神仏への関心を高めたいだけのことではないかと考えています。

「養成講座を受講しうかがっている石材店さんがいたら、どのような声をかけますか？」

池田 今後はAIを活用していくのが当たり前になっていくとわかって、ますます「AIなんて石屋には関係ない」ではなく使えるものは積極的に活用していくのが、お墓じまいのアイテムを増やしていくのが大事ではないかと考えています。

「エピソード・link」の講座に参加することでAIの技術を駆使することで様々な可能性が開いていくことも勉強になると思います。厳しい話の多い石材業界ですが、現状を指さすだけでなく、良いとされていることをまず行に移していくことが大切だと考えています。少しでも興味のある方は、ぜひ加わってみてはいかがでしょうか。



サイトに繋がるQR

「エピソード・link」の活用イメージ

「エピソード・link」は石材店様が「お施主様との関係性を深められるアイテムになるもの」と考えており、ぜひ多くの石材店様にご活用いただけましたら幸いです。

「はじめに講座を受けられたきっかけを教えてください。」

私どものお店がある地域は、

「エピソード・link」の活用イメージ

「エピソード・link」は石材店様が「お施主様との関係性を深められるアイテムになるもの」と考えており、ぜひ多くの石材店様にご活用いただけましたら幸いです。

「エピソード・link」の活用イメージ

「エピソード・link」は石材店様が「お施主様との関係性を深められるアイテムになるもの」と考えており、ぜひ多くの石材店様にご活用いただけましたら幸いです。



池田 芳一 社長

「講座を受けられた感想をお聞かせください。」

池田 受講した率直な感想は「これは良いものだ」ということです。お客様へのアプローチはこれからは変わりますが、受講時に具体的なコツなども教えていただき、既存のお客様をはじめ、葬儀社・仏壇店・写真店・寺院・神社共同墓地団体など、幅広い方々へ提案できるものだと思います。

石屋の仕事は、幅広い業種の方々と関わりが持てることも特徴で、石屋



GRIEF CARE AI時代のグリーフケア

日本グリーンフアカデミーの詳細は同会のサイト (<https://g.comac.jp>) をご覧ください

